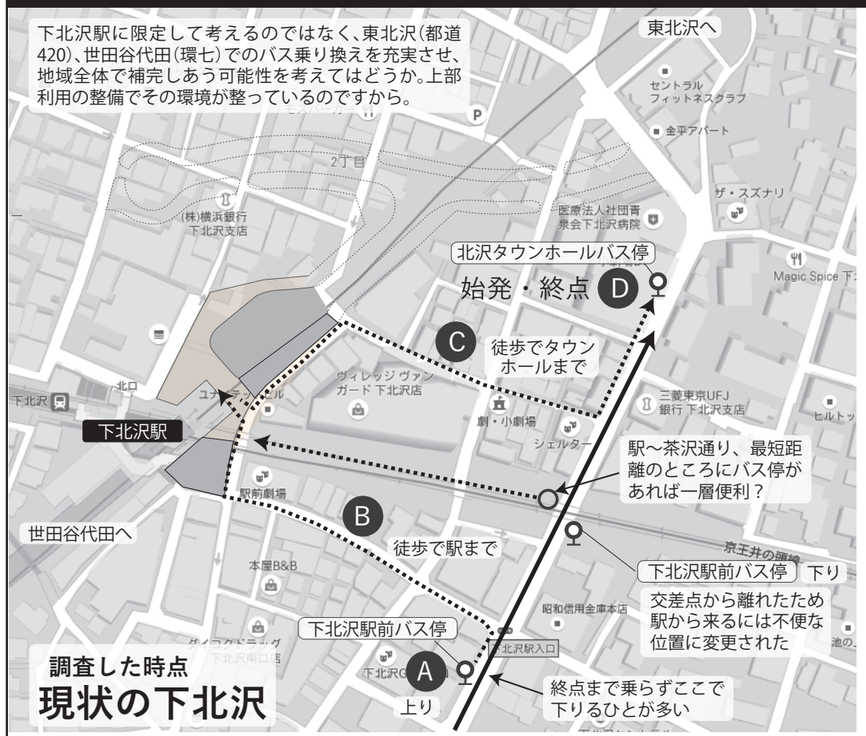
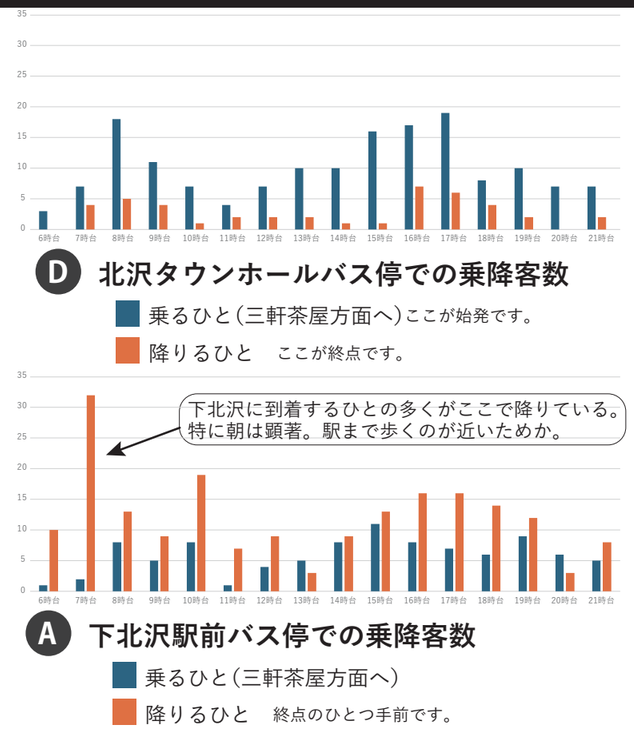
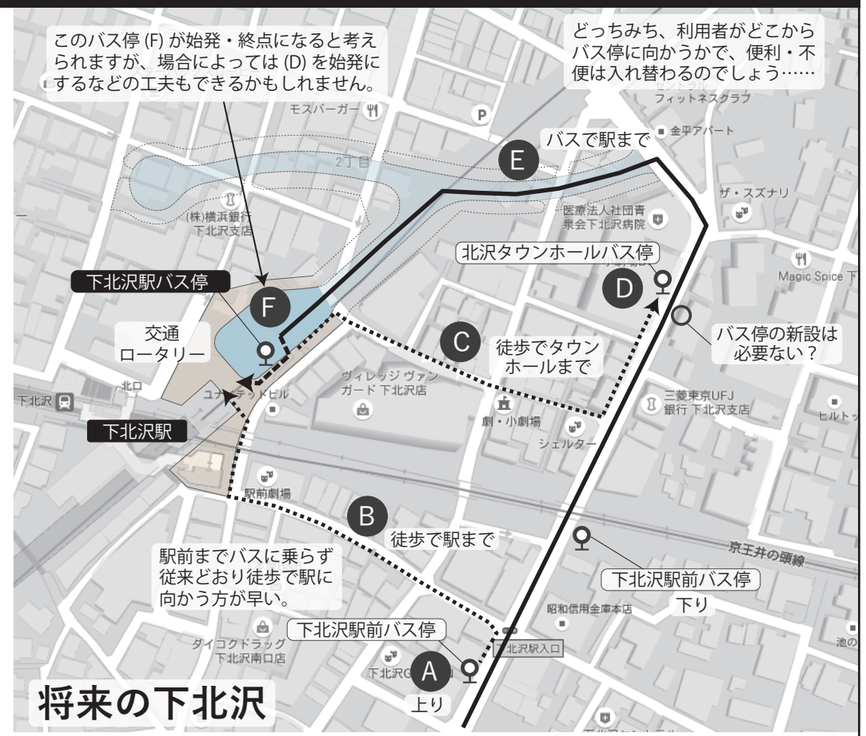
バス乗降客数調査を行いました

駅前広場の利用をみなさんといっしょに考えるために
実際にバスはどのように利用されているでしょうか







シモキタリングは、下北沢における現状のバスの利用状況を知るため、2024年6月17日～7月5日にかけ、「バス乗降客数調査」を行いました。下北沢発着のバス路線は、**小田急バス「下61 三軒茶屋経由、駒沢陸橋行き」1本のみ**です。シモキタリングのメンバーが下北沢から終点までバスに乗り、各バス停における乗降客を数え記録しました。調査の詳細は駅広部会HPで公開しています。これは、いずれ駅前の交通ロータリーの使用時に、バスがどのように利用され、場合によっては**バスが駅前に入ることを時間を区切って抑え、駅前を広場として利用することができるか**を考えるために行ったものです。将来の駅前空間の利用について、バスロータリーではなく**休憩や待ち合わせのできる広場、あるいは地元のお祭りなどに使える広場を求める意見**が以前からあり、この調査結果はそれを考える材料になるでしょう。調査結果にもとづく考察をこのペーパーでまとめました。

また、シモキタリングは、2024年10月6日に下北沢駅周辺でみちゆくみなさんに、駅前空間の利用に関するアンケートを行いました。駅前を交通のためだけではなく、**みんなの自由な広場**として希望する意見も多くありました。それもあわせてご覧いただけると幸いです。

バス乗降客数調査のまとめ

駅前アンケートのまとめ

調査結果から見えてくるもの

下北沢駅前にバス停ができて欲しい

乗る立場　改札からすぐ乗れる(F)は交通弱者にとっては便利。街に不案内なひとには分かりやすい。

降りる立場　乗り換えで駅まで歩く距離が短い。

下北沢駅前にバス停はそこまで必要ではない(現状維持)

乗る立場　現状(D)のように始発を待つ快適な環境を、あらたに駅前につくることは、様々な制約があり困難。

降りる立場　(A)から駅まで歩く(B)方が早く、(F)ができてもそれは変わらない。(E)のルートは遠回りで時間がかかる。

その他　利用者は、朝と夜で同じルートを使っているわけではないことが推測できる。周辺住民は帰宅時にバス以外の手段を使っている可能性が一定数考えられる。帰宅時は朝ほど急いでいないため？

暫定利用について

現状と将来の図を比較しましたが、実はそのあいだには**ロータリーのかたちができてもバスが入れない期間**があることが分かっています。そのため駅前空間を広場として**暫定利用**し、将来の利用方法の**実験をすることができる**のです。日曜日の三軒茶屋は歩行者天国です。それを参考に、バス路線の両側で**自由に歩くことをたのしめる街**が実現するなど、いろんなアイデアが生まれそうです。ぜひこの機会にさまざまな可能性を模索し、将来の駅前空間の利用につなげたい。みなさんといっしょにそれを考え、行政やバス会社に示しながら、一体となって将来の下北沢を**誰もが生きやすく、そしてたのしい街にしていきたい**と、わたしたちは考えています。

駅前のルールづくり、みなさんでいっしょに考えませんか

駅前広場をいろんな立場のみなさんといっしょに使っていくためには、そこでのルールが必要となるでしょう。誰がどのような考えを元にして、ルールづくりを進めることができるか。多くのひとがいっしょに使うために、ルールづくりも多くのみなさんといっしょに進める必要がある、わたしたちはそのように考えています。ぜひ、いっしょに考えませんか？

シモキタテーブル vol.10
発行：駅広部会ーシモキタリング 2025.02.24
http://shimokita-table.com/

下北沢リンク・パークの HP は Facebook 内にあります。ぜひご覧ください。
https://www.facebook.com/shimokitazawalinkpark/